

指 導 室

1 事務局運営事務 予算科目（款・項・目）50・05・10 [決算書325ページ]

市立小・中学校の教育活動を地域や関係機関とともに支援していくためのもの

(1) あいさつ運動

児童・生徒の豊かな心を育成することを目的として、学校、地域、保護者が互いに連携し、あいさつ運動を実施した。6月と11月をあいさつ運動推進月間とし、それぞれ「あいさつ週間」を1週間設定して、全市立小・中学校において、登校時に教職員、教育委員会職員や保護者などが校門前に立ち、児童・生徒に朝の挨拶を行った。

(2) 調布市教育シンポジウム

共生社会の実現に向けた教育委員会及び学校の取組を、保護者や地域の方と共有する機会とすることを目的に開催した。

ア テーマ 「調布市の障害者理解教育の推進」

イ 開催日 令和2年1月18日

ウ 会場 調布市文化会館たづくり

エ 参加者数 174人

(3) 調布市教育委員会いじめ問題対策協議会

調布市教育委員会いじめ防止に関する規則に基づき、いじめの未然防止や重大事案への対処等に取り組むため設置した。

ア 開催日 令和元年10月23日

イ 委員構成等 学識経験者、調布警察署、子ども家庭支援センターすこやか、多摩児童相談所、調布保護司会、調布市立小・中学校長会会長

(4) 幼・保・小連携事業

調布市内の幼稚園・保育園及び小学校がともに連携し、児童の幼児期から学童期への円滑な移行を市保育課と共催で支援するもの

ア 幼保小連携推進会議

(ア) 開催日 令和元年6月20日、令和2年2月17日

(イ) 委員構成等 調布私立幼稚園協会からの推薦者 (2人) 女2人

調布市保育園協会からの推薦者 (4人) 男1人、女3人

調布市公立小学校長会からの推薦者 (4人) 男2人、女2人

イ 保護者向け講演会「これでOK！ 小学校入学ナビ」

(ア) 開催日 令和元年9月7日

(イ) 参加者数 約200人

ウ 就学支援シート

幼稚園・保育園の支援方法などを小学校につなげることを目的として作成・活用した。

2 教育指導管理事務 予算科目（款・項・目）50・05・15 [決算書325～329ページ]

教育活動の充実を図るため、市立小・中学校において教育活動の支援や指導を行うもの

(1) 学校教育支援学生ボランティア

市立小・中学校における教育活動の充実を図るとともに、学生に社会体験の機会を提供することを目的として、市と相互友好協力協定を締結している大学、近隣の大学等の学生や市内・

近隣に在住する学生を、ボランティアとして市立小・中学校に派遣した。

学生ボランティアは、学習指導の補助、児童・生徒の介助、教育相談及び部活動・課外活動の支援活動を行った。

年度	学生ボランティア登録者数 (人)	派遣先学校数 (校)
29	20	9
30	8	3
元	9	4

※ 地域学校協働本部実施校（20校）については、自校でボランティア活用を実施

(2) 教科書採択

令和2年度に使用する調布市立小・中学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書採択を行った。

ア 教科用図書選定運営委員会（全3回）

教科書採択事務が円滑かつ公正に行うことができるよう教科用図書選定運営委員会を設置し、教育委員会から諮問された調査・研究に対し答申をした。

(ア) 開催日 令和元年5月14日、同年7月5日、同月9日

(イ) 委員構成等 教科用図書選定運営委員長、各教科等教科書調査委員会委員長、小・中学校特別支援学級用教科書調査委員会委員長、有識者、保護者 男13人 女8人

イ 教科書調査委員会

教科用図書選定運営委員会から文部科学省著作教科書及び学校教育法附則第9条による教科書の教科別・種目別に調査・研究の依頼を受け、各教科書の違いが明瞭に分かる「調査・研究資料」を作成した。

ウ 教科書展示会

市民・保護者向けの教科書見本展示を3箇所で行った。

場所	展示日時
中央図書館	令和元年6月14日～29日（休館日を除く。） 午前9時～午後8時30分
深大寺分館・若葉分館	令和元年6月14日～29日（休館日を除く。） 午前9時～午後5時

(3) 不登校支援事業

各校の不登校対策員が中心になり、自校の不登校状況を個別支援票の集約を基に把握するとともに、不登校支援委員会において、各学校の不登校状況の報告と不登校児童・生徒の解消に向けた情報交換や分科会での協議を行い、課題解決のために取り組んだ。

ア メンタルフレンド

不登校児童・生徒を対象に、学校からの依頼を受けて、大学生等を学習の補助、話し相手として派遣し、学校に行きづらい児童・生徒をサポートした。

年度	派遣した大学生等の回数(回)	対象児童・生徒数(人)
29	141	7
30	154	13
元	249	13

イ テラコヤスイッチ

不登校生徒を対象に、同年代の生徒や大学生等との小集団での活動や、学習等を実施し、学校に行きづらい生徒をサポートした。

年度	実施回数(回)	参加生徒数(人)
29	43	9
30	42	10
元	39	10

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年2月26日から事業中止

(4) 体力テスト

東京都の体力調査を市立小・中学校の全学年を対象に実施し、体格、体力及び運動能力の実態を把握した。その結果をまとめ、分析し全校に配布することにより、普段の体育指導に有効な情報として活用した。

種目	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横跳び	20m シャトルラン	持久走 (男1,500m) (女1,000m)	50m走	立ち 幅跳び	ソフト・ ハンドボール 投げ
小学校	○	○	○	○	○		○	○	○
中学校	○	○	○	○	選択実施		○	○	○

(5) 学力状況調査（市独自調査）

児童・生徒一人一人の学習状況を把握し、今後の指導に生かしていくため、国や東京都の調査のほかに、調布市独自の学力状況調査を行った。

区分	学年	科目
国	小学校6年生	国語，算数，意識調査
	中学校3年生	国語，数学，英語，意識調査
都	小学校5年生	国語，社会，算数，理科，意識調査
	中学校2年生	国語，社会，数学，理科，英語，意識調査
市	中学校1年生	国語，数学，英語，意識調査

(6) 生活指導主任会（児童・生徒の健全育成）

児童・生徒の生活指導上の課題を明確にするとともに、関係諸機関との連携を図りながら実践的対応に努めた。

ア 構成 市立小・中学校長（2人），市立小・中学校副校長（2人），市立小・中学校生活指導主任（28人），その他必要に応じて、警察，保護司等

イ 開催 小・中学校合同全体会（年1回），小学校分科会（年5回），中学校分科会（年6回）

(7) 教員用教科書・指導書の購入

年度	教科書購入（冊）		指導書購入（冊）	
	小学校	中学校	小学校	中学校
29	284	54	264	74
30	488	50	158	74
元	207	134	0	27

(8) 調布市作成の副読本，指導資料，報告書等

ア わたしたちの調布（小学校第3・4学年用）

イ 社会科色地図（小学校第3・4学年用）

ウ 中学校社会科用地形図

エ 調布市中学生職場体験事業所向けガイドブック

オ 指導室要覧

(9) 特色ある学校づくり

豊かで特色ある学校づくりの実現を目的として、学校ボランティア等に係る経費や学校独自の事業実施のための経費について交付金を全市立小・中学校へ交付した。

(10) 学校農園

市内の協力農家において、さつまいも、大根づくりなどの農作業の体験的学習を行った。

年度	実施校数(校)	実施学校名
29	1	調和小学校
30	1	調和小学校
元	1	調和小学校

(11) オリンピック・パラリンピック教育

調布市のオリンピック・パラリンピック教育の3つの視点を基に、「4つのテーマ」と「4つのアクション」を組み合わせた様々な教育活動を行った。

ア 夢・未来プロジェクト

東京都教育委員会によるアスリート等の派遣事業

(ア) 「Welcome」プログラム

オリンピック派遣

染地小学校 柔道 シャーフセイン・シャー 氏

(イ) 「自分にチャレンジ」プログラム

飛田給小学校・第三小学校 車いすバスケットボール 京谷 和幸 氏

イ 世界ともだちプロジェクト

オリンピック・パラリンピック教育を通じて、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重することの重要性を理解するため、大会参加予定国について幅広く学び、東京2020大会までの期間に実際の国際交流活動等を実施することを目的として、学校ごとに参加予定国5箇国を1つのグループとする大会参加予定国を幅広く学び、可能な限り実際の交流へと深化させていく活動を行った。

ウ 車いすバスケットボールの体験及び国際大会観戦

(ア) 「三菱電機 Going Up キャンペーン for school」

障がい者理解や他者への思いやりを学ぶとともに、車いすバスケットボールの観戦機運を高めることを目的に体験事業が実施され、市立小学校3校の児童が体験した。

実施日	対象校
令和元年6月20日	国領小学校
令和元年6月27日	第一小学校
令和元年7月12日	上ノ原小学校

(イ) 「三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2019」

武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて開催され、市内の小・中学生が観戦を行い、障害者スポーツに対する理解を深めた。

実施日	対象校
令和元年8月30日	富士見台小学校、上ノ原小学校、北ノ台小学校、飛田給小学校、国領小学校、調布中学校、第六中学校

エ オリンピック・パラリンピック教育推進校

調布市立小・中学校の全28校が、東京都教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育推進校」として指定され、各校が様々な取組を実施した。

学校名	主な取組
-----	------

第一小学校	水泳教室 日本伝統文化体験
第二小学校	折り紙教室 走り方教室
第三小学校	フェンシング体験 水墨画体験 なわとび教室
八雲台小学校	走り方教室 フェンシング体験 ボッチャ体験 ハンドボール体験
富士見台小学校	食文化講座 日本伝統文化体験
滝坂小学校	走り方教室
深大寺小学校	表現運動講座 トライアスロン体験 国際理解教育 一輪車教室
上ノ原小学校	狂言体験 茶道体験
石原小学校	フェンシング体験 よさこい指導 東京 2020 算数ドリル実践学習会
若葉小学校	ハードル走・走り方教室
緑ヶ丘小学校	バスケットボール体験 パラリンピアン講演
染地小学校	走り方教室 ボッチャ体験
北ノ台小学校	紙ヒコーキ教室 折り紙教室
多摩川小学校	世界の音楽講座 ブラインドサッカー体験 アスリート講演会
杉森小学校	ボランティアマインド講座
飛田給小学校	ボッチャ体験 国際理解教育 ラグビーフットボール体験
柏野小学校	茶道体験 紙ヒコーキ教室 車イスダンス講座
国領小学校	ハンドボール体験 国際理解教育
布田小学校	車いすバスケットボール体験 ブラインドサッカー体験
調和小学校	ボール投げ教室 ラクロス体験
調布中学校	オリンピック講演会
神代中学校	車イスダンス講座
第三中学校	車いすバスケットボール体験
第四中学校	国際理解教育 ボランティアマインド講座
第五中学校	浴衣の着付け体験 ボランティアマインド講座
第六中学校	創作ダンス講座
第七中学校	オリンピック講演会
第八中学校	創作ダンス講座 車いすバスケットボール体験

オ オリンピック・パラリンピック教育アワード校

市立小・中学校の5校が、東京都教育委員会から「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として指定され、様々な取組を実施した。

学校名	主な取組
第三小学校	パラリンピアン講演 落語講演 走り方教室
多摩川小学校	東京染小紋体験
調和小学校	アスリート講演会 なわとび教室
第三中学校	新体操講演会
第四中学校	ボランティアマインド講座

カ パラリンピック競技応援校

応援校が選択したパラリンピック競技の観戦や体験等を通じて、パラリンピック競技に親

しみ、応援しようとする児童を育成するために、障害者スポーツにおける興味・関心の向上、理解の促進を図る活動を行った。

応援校	選択競技
飛田給小学校	ウィルチェアラグビー

(12) 国・都委託事業

文部科学省や東京都教育委員会からの委託を受け様々な取組を実施した。

ア 学習上の支援機器等教材活用評価研究事業（柏野小）（令和元年度）

小学校情緒障害等通級指導教室に在籍する児童の、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫及び改善に関する調査研究事業

イ 持続可能な社会づくりに向けた教育推進事業（神代中学校）（令和元・令和2年度）

持続可能な社会を創造していくことを目指し、自ら学び考える生徒を育成するための事業

ウ 人権尊重教育推進校（第二小学校）（令和元・令和2年度）

自分自身を大切にするとともに他人の気持ちを考えることができ、自らの意思で決まりを守るができる児童を育てるための事業

エ 小学校・中学校の知的障害特別支援学級から特別支援学校高等部までの一貫した教育課程の研究事業（富士見台小学校・調布中学校）（平成30・令和元年度）

東京都教育委員会と連携して、特別支援学校高等部への進学を見据えた12年間の一貫した教育課程編成とカリキュラムづくりを研究・開発するための事業

オ プログラミング教育推進校（北ノ台小学校）（平成30・令和元年度）

小学校におけるプログラミング教育を推進するに当たり、支援団体等と小学校の効果的連携を推進及び他校への普及・啓発実施するための事業

カ 安全教育推進校（第五中学校）（平成30・令和元年度）

児童・生徒に危険を予測し回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するため「安全教育プログラム」を活用した安全教育を推進するための事業

キ 国際的なスポーツ大会を契機とした体力向上事業（令和元・令和2年度）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を契機に、スポーツへの関心を高め、親しむことで、児童・生徒の運動の苦手意識をなくし、体力向上を図る事業

(13) 地域学校協働本部

地域人材を活用し学校における教育活動（学習支援・部活動など）の充実を図るため、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを平成22年度から配置。各校の実情に合わせた支援が行えるよう体制を整えた。

年度	実施校数(校)	実施学校名
29	11	第八中学校，深大寺小学校，若葉小学校，国領小学校，滝坂小学校，第五中学校，布田小学校，多摩川小学校，神代中学校，第四中学校，第七中学校
30	16	第八中学校，深大寺小学校，若葉小学校，国領小学校，滝坂小学校，第五中学校，布田小学校，多摩川小学校，神代中学校，第四中学校，第七中学校，八雲台小学校，北ノ台小学校，調布中学校，第三中学校，第六中学校

元	20	第八中学校，深大寺小学校，若葉小学校，国領小学校，滝坂小学校，第五中学校，布田小学校，多摩川小学校，神代中学校，第四中学校，第七中学校，八雲台小学校，北ノ台小学校，調布中学校，第三中学校，第六中学校，第三小学校，上ノ原小学校，緑ヶ丘小学校，調和小学校
---	----	---

(14) 科学センター

ア 設置目的 市立小学校の科学教育の振興を図るもの

イ 設置校 布田小学校

ウ 対象 市立小学校第5・6学年児童

年度	実施回数（回）	延べ参加児童数（人）
29	13	764
30	10	318
元	10	478

※ 29年度は，天候悪化のため1講座中止となった。

※ 30年度は，前・後期制とし，各5講座を実施した。

※ 元年度は，通年制とし，10講座を実施した。

(15) 教育センター

ア 教育経営研究室

教職員の新任研修及び経験者等の研修をはじめ，教育に関する専門的，技術的事項の調査・研究を行った。

年度	経営研究室研究員配置人数
29	市嘱託員2人，都非常勤嘱託員2人
30	市嘱託員3人，都非常勤嘱託員2人
元	市嘱託員7人

イ 教育支援コーディネーター室

教育支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーを配置して，関係機関と連携し，市立小・中学校等の教員，児童・生徒，保護者や地域の人等の相談を受け，事案に応じた支援をコーディネートした。

(ア) 教育支援コーディネーターの配置人数等

年度	教育支援コーディネーター配置人数		スクールソーシャルワーカー配置人数
	教育会館配置	はしうち教室配置 ※ 平成29年度までは， 七中相談学級	
29	市嘱託員 2 人	市嘱託員 2 人	市嘱託員 3 人
30	市嘱託員 2 人	市嘱託員 2 人	市嘱託員 3 人
元	市嘱託員 3 人	市嘱託員 2 人	市嘱託員 4 人

(イ) 新規案件数等

(単位：件)

区分	年度		
	29年度	30年度	元年度
新規案件数	75	84	103
延べ活動件数	2,498	2,243	2,400

(16) 適応指導教室「太陽の子」

ア 目的 心理的要因等から不登校の状態又はその傾向のある児童に対して，対人関係能力の伸長及び自立への援助を行うもの

イ 沿革

平成8年9月 市民センター3階に開設

平成18年4月 市民センターの取壊しに伴い、民間テナントビル（小島町3丁目69番地14）の4階に移設

平成21年4月 市民大町スポーツ施設内に移設

平成30年9月 第七中学校不登校特例校分教室開設に伴い、教育会館5階に移設

ウ 通室延べ児童数

年度	通室実児童数（人）	通室延べ児童数（人）	開設日数（日）
29	18	964	202
30	18	1,340	196
元	9	780	181

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで太陽の子を臨時休業

エ 太陽の子の配置人数等

年度	教育支援コーディネーター等 配置人数
29	市嘱託員2人，都非常勤嘱託員3人
30	市嘱託員2人，都非常勤嘱託員3人
元	市嘱託員1人，都非常勤嘱託員4人

(17) 第七中学校不登校特例校分教室「はしうち教室」

ア 目的 心理的な理由から、通常の学校生活に不適應を起し、不登校となっている生徒に対して、適切な指導のもとにその心理的な不安等の改善に努め、社会的な自立を支援するもの

イ 沿革

平成30年4月 市民大町スポーツ施設内に開設

ウ 在籍生徒数

年度	在籍実生徒数（人）
30	25
元	21

エ はしうち教室配置人数

年度	教職員配置人数
30	正規教員4人，市嘱託員2人，都非常勤嘱託員2人
元	正規教員4人，市嘱託員2人，都非常勤嘱託員2人

(18) いじめ撲滅に向けた取組

12月の調布市立学校「人権週間」において、全ての学校がいじめに特化し、児童・生徒が主体的に取り組む活動を行った。

3 特別支援学級運営事務 予算科目（款・項・目）50・05・15 [決算書329ページ]

特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を行う特別支援学級を運営するもの

(1) 学級介助員

特別支援学級（知的障害）1クラスに1人の介助員を配置し、学級担任の業務補助を行った。

特別支援学級設置校学級数・児童生徒人数・配置人数（各年度5月1日現在）

学校及び学級種別	29年度			30年度			元年度		
	学級数	児童生徒人数	介助員	学級数	児童生徒人数	介助員	学級数	児童生徒人数	介助員
第一小学校 (固定学級)	4	25	4	3	23	4	3	23	4
第一小学校 (言語障害通級指導学級)	3	60	/	3	57	/	3	48	/
第一小学校 (難聴通級指導学級)	1	16	/	1	11	/	1	12	/
八雲台小学校 (固定学級)	5	37	5	5	34	5	4	29	5
富士見台小学校 (固定学級)	3	18	3	3	17	3	2	14	2
滝坂小学校 (固定学級)	2	14	3	2	16	3	2	16	3
深大寺小学校 (特別支援教室)	/	/	/	/	63	/	/	82	/
石原小学校 (特別支援教室)	/	97	/	/	87	/	/	94	/
緑ヶ丘小学校 (特別支援教室)	/	/	/	/	49	/	/	66	/
染地小学校 (固定学級)	3	19	3	3	21	3	3	21	3
多摩川小学校 (固定学級)	2	12	1	1	8	1	1	7	0
杉森小学校 (特別支援教室)	/	/	/	/	43	/	/	56	/
飛田給小学校 (特別支援教室)	/	89	/	/	81	/	/	91	/
柏野小学校 (特別支援教室)	/	112	/	/	78	/	/	83	/
布田小学校 (特別支援教室)	/	/	/	/	33	/	/	48	/
調和小学校 (特別支援教室)	/	122	/	/	94	/	/	102	/
調布中学校 (固定学級)	4	29	4	4	30	4	4	30	4
神代中学校 (固定学級)	3	18	3	2	15	2	3	20	3
第三中学校 (固定学級)	3	20	3	3	18	3	3	20	3
第六中学校 (特別支援教室)	4	38	/	5	43	/	/	32	/
第七中学校 (情緒障害等通級指導学級)	1	5	/	/	/	/	/	/	/
第八中学校 (特別支援教室)	/	/	/	/	/	/	/	40	/

※ 第七中学校（情緒障害等通級指導学級）は、不登校特例校分教室開設に伴い、平成30年3月末で廃止した。

※ 平成31年4月から、特別支援教室拠点校を新たに1校設置（第八中学校）

(2) スクールサポーター

集団不適應の児童への指導等をサポートするため、全市立小・中学校にスクールサポーターを配置した。

年度	配置数(人)	配置型	派遣型
29	31	28	3

30	30	28	2
元	27	27	0

(3) 特別支援学級巡回検査・訓練

特別支援学級の児童・生徒を対象に、検査や訓練を行う専門家が学校を訪問して行った。

検査内容	29年度	30年度	元年度
知能検査実施人数（人）	13	17	7
機能訓練訪問回数（回）	81	79	70
言語訓練訪問回数（回）	54	50	0
医学診断訪問回数（回）	0	0	0
心理療育相談訪問回数（回）	3	2	0
音楽療法訪問回数（回）	6	2	2

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで小・中学校で臨時休業

4 校外学習指導事務

予算科目（款・項・目）50・05・15
〔決算書329～331ページ〕

児童・生徒の豊かな心を育み、協調性や規律性を養う校外学習を実施するもの

(1) 移動教室

ア 小学校移動教室

第5学年を対象に、調布市八ヶ岳少年自然の家を利用して、2泊3日で実施した。

沿革

平成9年度 1泊2日で順次実施開始

平成12年度 1泊2日で全20校実施

平成13年度 4校が2泊3日に拡充して実施

平成14年度 14校が2泊3日で実施

平成15年度 全20校が2泊3日で実施

平成23年度 第5学年20校に加え、第4学年の1校が1泊2日で実施

平成24年度 第5学年20校に加え、第4学年の2校が1泊2日で実施

平成25年度 第5学年20校が2泊3日で実施

第6学年を対象に、令和元年度から日光移動教室を2泊3日で実施した。

イ 小学校特別支援学級移動教室

学校別で、高尾山等を利用した1泊2日の宿泊訓練を実施した。

ウ 中学校移動教室

全市立中学校の第1学年を対象に、木島平村で2泊3日のスキー教室を実施した。

エ 中学校特別支援学級移動教室

学校別で、神奈川県相模湖方面や栃木県那須方面等へ1泊2日の宿泊訓練を実施した。

(2) 修学旅行

全市立中学校の第3学年を対象に、修学旅行を実施した。

学校名	日程	行先
調布中学校	令和元年9月29日～10月1日	京都・奈良方面
神代中学校	令和元年9月10日～12日	京都・奈良方面
第三中学校	令和元年9月16日～18日	京都・奈良方面

第四中学校	令和元年9月27日～29日	京都・奈良方面
第五中学校	令和元年9月15日～17日	京都・奈良方面
第六中学校	令和元年9月20日～22日	京都・奈良方面
第七中学校	令和元年9月1日～3日	京都・奈良方面
第八中学校	令和元年5月29日～31日	京都・奈良方面

(3) 芸術鑑賞教室

児童・生徒にオーケストラによる音楽の美しさや、生の演技・芝居の迫力を体感させ、心豊かになる教育活動を行った。

ア 調布市立小学校音楽鑑賞教室

- (ア) 対象 第6学年児童
- (イ) 日程 令和元年6月4日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演奏 東京都交響楽団

イ 調布市立小学校演劇鑑賞教室

- (ア) 対象 第4学年児童
- (イ) 日程 令和元年7月11日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演目 「カモメに飛ぶことを教えた猫」 (劇団四季こころの劇場)

ウ 調布市立中学校古典芸能鑑賞教室

- (ア) 対象 第1学年又は第2学年生徒
- (イ) 日程 令和元年9月5日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 内容 狂言 (ふくろうやまぶし 梶山伏, ぶす 附子), 落語 (笑福亭岐代松, 三笑亭夢太郎)

エ 調布市立中学校音楽鑑賞教室

- (ア) 対象 第1学年又は第2学年生徒
- (イ) 日程 令和2年1月23日
- (ウ) 会場 調布市グリーンホール大ホール
- (エ) 演奏 東京都交響楽団

(4) 教育委員会主催行事等参加支援

芸術鑑賞教室等に参加する児童・生徒の学校等から会場までの交通費を補助した。

(5) 中学生職場体験

事業所等の協力を得て、職場や仕事の実験を体験することにより、将来に夢や希望を抱き、その実現のための知識・技能の習得への関心を高め、望ましい勤労観・職業観を育むことを目的として、全市立中学校の第2学年生徒を対象に、平成18年度から実施した(18・19年度は3日間。20年度からは5日間)。

年度	参加生徒数(人)	受入事業所数(延べ箇所)
29	1,323	431
30	1,284	444
元	1,294	408

5 国際理解教育

予算科目(款・項・目) 50・05・15 [決算書331ページ]

児童・生徒の国際理解を図り、また、帰国及び外国籍児童・生徒への日本語指導を行うもの

(1) 外国人英語指導

全市立小・中学校で英語を母国語とする外国人による英語指導を実施した。

年度	延べ指導日数（日）
29	1,559
30	2,095
元	2,074

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで小・中学校で臨時休業

(2) 日本語指導

日本語の会話・理解が困難な海外からの帰国及び外国籍児童・生徒が、学校生活に早く適応できるよう、基本的な日本語指導や授業補助指導等を行った。

ア 日本語指導教室（おおむね週2回、調布市教育会館で開催）

年度	在籍人数（人）	実施回数（回）
29	61	89
30	68	77
元	61	68

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年2月26日から事業中止

イ 日本語指導臨時講師

当該児童・生徒の母国語等を話すことができる講師を市立小・中学校に派遣した。

年度	対象児童・生徒数（人）	延べ派遣時間数（時間）
29	30	1,504
30	27	1,731
元	24	1,503

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで小・中学校で臨時休業

6 命の教育活動

予算科目（款・項・目）50・05・15〔決算書331ページ〕

命の大切さや他者との違いを理解し、お互いを認め合うことができる豊かな心を育成するもの

(1) 普通救命講習

中学校第3学年と小学校第6学年を対象に実施した。

年度	受講児童数（人）	受講生徒数（人）
29	1,660	1,389
30	1,725	1,355
元	1,809	903

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により3月実施分の2校については中止

(2) 上級救命講習

教員に対して、救命講習を実施した。

年度	受講教員数（人）	
	新規講習	再講習
29	154	130
30	140	148
元	156	119

(3) 応急手当普及員講習

上級救命講習を受講した教員に対して、講習を実施した。

年度	受講教員数（人）	
	新規講習	再講習
29	16	29
30	15	12
元	21	6

(4) 防災に係る保護者地域対象の教育活動

主に防災教育の日を活用し、保護者や地域の人を対象とした防災に係る講演会を実施した。

7 教職員研究活動

予算科目（款・項・目）50・05・15
〔決算書331ページ〕

教職員の指導力向上を図るため、市立小・中学校等の研究を推進し、教職員の研修を実施するもの

(1) 教職員研修

研修名	回数等
校長会	11回
副校長連絡会	4回
主幹教諭研修会	1回
教務主任会	小・中各5回（合同会を含む）
生活指導主任会	小5回・中6回（合同会を含む）
中学校進路指導主任会	3回
人権教育推進委員会	4回
小学校外国語活動推進委員会	3回
特別支援教育推進委員会	3回
初任者研修会	11回（宿泊研修を別途開催）
2・3年次研修会	5回
中堅教諭等資質向上研修 I	4回
スクールカウンセラー連絡会	3回
不登校児童・生徒への支援委員会	4回
学校図書館運営連絡協議会	2回
I C T 教育推進委員会	5回

(2) 調布市立小・中学校教育研究会

教員の資質向上に資するための研修会の実施など、研究会による自主的な活動に対して補助を実施した。

また、連合行事について事業委託を実施した。

(3) 連合行事

ア 連合音楽会（小学校）令和元年12月5日から同月6日まで 調布市グリーンホール

イ 連合音楽会（中学校）令和元年11月6日 調布市グリーンホール

ウ 連合図工展 令和2年1月17日から同月20日まで 調布市文化会館たづくり南北ギャラリー

エ 連合美術展 令和2年1月31日から同年2月4日まで 調布市文化会館たづくり南ギャ

ラリー

(4) 調布市教育委員会研究推進校

ア 概要 教育指導上の諸問題を解明し、公教育の向上発展及び教員の資質向上を図るため、学校が研究課題を設定し、授業研究を通して課題の解決を図り、その成果を市民に発表するもの

イ 実施校

(ア) 深大寺小学校（平成30・令和元年度）

研究課題「主体的に話し合い高め合う児童の育成－国語科における話し合い活動を通して－」

(イ) 石原小学校（平成30・令和元年度）

研究課題「外国語に親しみ、学んだことを活用しながらコミュニケーションをとろうとする児童の育成～主体的・対話的で深い学びの授業改善の視点から～」

(ウ) 調布中学校（平成30・令和元年度）

研究課題「学び合いを通して、主体的・意欲的に学習する生徒の育成」

(エ) 上ノ原小学校（令和元・2年度）

研究課題「自分の考えを表現し、共に学び合える児童の育成－対話的な活動を通して－」

(オ) 飛田給小学校（令和元・2年度）

研究課題「多様性を尊重し、互いを認め合える児童の育成～オリンピック・パラリンピック教育を通じた障害者理解を軸として～」

(カ) 神代中学校（令和元・2年度）

研究課題「自ら学び考える生徒の育成」～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して～

(5) 少人数学習指導

小学校低学年の算数を中心として、児童一人一人へのきめ細かい指導を実現するため、少人数指導講師を全市立小学校に配置した（平成17年度に10校で開始し、平成18年度からは小学校全校で実施）。

8 心の教育推進事業

予算科目（款・項・目）50・05・15 [決算書331ページ]

市立小・中学校全28校にスクールカウンセラーを配置し、学校生活での様々な問題への対応を図るため、学校教職員と連携しながら児童・生徒へのカウンセリング等の相談活動を行うもの

(1) 小学校スクールカウンセラー相談者数

(単位：人)

年度	児童	保護者	教職員	他機関等	合計
29	8,065	2,101	6,159	250	16,575
30	7,821	2,172	6,101	262	16,356
元	5,298	2,107	5,609	251	13,265

(2) 中学校スクールカウンセラー相談者数

(単位：人)

年度	生徒	保護者	教職員	他機関等	合計
29	2,126	755	2,277	109	5,267
30	1,906	673	2,254	141	4,974
元	1,578	700	1,988	129	4,395

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで小・中学校で臨時休業

9 学校図書館運営

予算科目(款・項・目) 50・05・15
 [決算書331～333ページ]

読書活動や調べ学習への支援等により学習活動の充実を図るため、市立小・中学校図書館を運営するもの

(1) 学校図書館活動状況(全市立小・中学校28校)

ア 年間貸出総冊数

年度	貸出総冊数(冊)	児童・生徒利用冊数(冊)
29	746,677	705,310
30	758,334	718,633
元	755,887	715,713

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により令和2年3月2日から同月25日まで小・中学校で臨時休業

イ 図書資源共有

- (ア) 学校間借受 2,189冊
- (イ) 市立図書館借受 5,934冊
- (ウ) 貸借時図書資料搬送 コンテナ 584箱

ウ 蔵書総数 360,869冊

エ 除籍図書 9,398冊

オ 図書標準達成校数 小学校20/20校, 中学校7/8校

カ 「平成30年度版調布市立学校図書館状況報告書」の発行

学校図書館の蔵書数等の基本データや児童・生徒・教員等への貸出冊数、読書活動及び調べ学習での学校図書館活用授業内容等の利用状況をまとめた。

キ 推薦図書リスト「2019ほんのたからばこ」(小学1・2学年, 3・4学年, 5・6学年向け), 「2019ほんとののであい」(中学校向け)の発行

(2) 学校図書館専門嘱託員

ア 配置 全校1人配置 ※ 上ノ原小学校は2人配置

年度	配置数(人)
29	30
30	29
元	29

イ 研修会

(ア) 講師, テーマ及び開催日

- a 読書のアニメーション研究会代表 岩辺 泰史氏 「読書指導の研修(アニメーション研究会)」 令和元年7月3日
- b 明治大学附属明治中学校高等学校図書館見学 令和元年7月31日
- c 明星大学非常勤講師 坂口 昇平氏 「発達障害・知的障害の理解について」 令和元年7月31日
- d 小学校図書館専門嘱託員 「年鑑利用授業, 詩の読み聞かせの工夫の実践紹介」 令和元年8月23日
- e 市立第五中学校教諭 「図書館を使っでの授業研究 書くことの指導の工夫」 令和元年10月9日

f 元暁星小学校教諭 小山 公一氏 「豊かな心・学ぶ喜び・子どもと本をつなぐ学校図書館」 令和元年11月6日

g 児童文学作家 山花 郁子氏 「楽しい読書活動を推進する学校図書館の役割」 令和元年12月4日

(イ) 事務連絡会等会議 年14回

10 情報教育

予算科目(款・項・目) 50・05・15

[決算書333ページ]

予算科目(款・項・目) 50・10・10

[決算書343ページ]

予算科目(款・項・目) 50・15・10

[決算書353～355ページ]

児童・生徒が情報社会に対応できる情報活用能力を身に付けるため、情報教育を推進するもの

(1) パソコンライブラリー

パソコンやソフトウェアの使い方のアドバイス、パソコンのトラブルの解決など、市立小・中学校のパソコン教室やICT機器の利用を円滑に運営することを目的に、教育センター内に設置。情報教育専門嘱託員を1人配置し、各校のパソコンの利用、情報教育の学習活動、情報発信などの円滑な運営を支援した。

(2) パソコン設置状況(各年度3月31日現在)

ICT教育を推進すべく、段階的に小・中学校へタブレット端末や無線LANアクセスポイントなどの環境整備を行っている。

新学習指導要領や利便性等を考慮し、教員用パソコンから整備を行い、1台のタブレット端末において校務及び教育(授業)で使用できるシステムを構築するとともに、普通教室に無線LANアクセスポイント及び超短焦点プロジェクターを常設した。令和元年度で市立小・中学校全校の導入が完了した。

ア 概要

内容	比較	市の整備状況	文部科学省の目標
児童・生徒教育用パソコン(下記イ・ウ・キ)		各校に1クラス分程度	3クラスに1クラス分程度
教員校務用パソコン(下記エ)		100%	100%(1人1台)
校内LAN整備		100%(全校)	100%(全校)

※ 文部科学省の目標は、第2期教育振興基本計画で目標とされている標準

イ パソコン教室(各校42台配置) (単位:台)

学校別	小学校			中学校		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
設置台数合計	840	840	798	336	336	336

ウ 情報教育用(教材作成用(職員室設置)・電子黒板接続用(教室等に移動可)パソコン)

(単位:台)

学校別 年度別	小学校			中学校		
	29年度	30年度	元年度	28年度	29年度	元年度
導入校	257	261	514			212
未導入校	93	93		102	102	

エ 教務用(全教員に1台のパソコンを配置。タブレットは情報教育用と兼用) (単位:台)

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
導入校	287	291	596			244
未導入校	267	272		240	240	

オ プロジェクター (単位：台)

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
導入校	186	188	384			156
未導入校	20	20		24	24	

カ 無線LANアクセスポイント (単位：台)

学校別 年度別 タブレット	小学校			中学校		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
導入校	186	188	384			156
未導入校	0	0		0	0	

キ 特別支援学級用タブレット (単位：台)

学校別	小学校	中学校
設置台数合計	23	18

ク 指導室

機器	数量 (台)
タブレット	54
ノートパソコン	10
無線LANアクセスポイント	1
プロジェクター	1

(3) 教育情報ネットワークのセキュリティ強化

文部科学省のガイドライン及び調布市セキュリティポリシー踏まえ、教育情報ネットワークのセキュリティの強化を図るため、機微な情報が含まれる校務環境を仮想化（SBC方式）することで、インターネット接続環境から分離し、さらにメール機能にはインターネットの脅威を排除するメール無害化システムを導入した。

(4) 校務支援システム導入

教職員の校務業務の軽減、校務情報の一元化、校務情報のセキュリティ強化などの観点から、学籍管理、成績管理等の校務作業を統合したシステムである校務支援システムを市立小・中学校全校に整備した。

令和元年度は、全ての機能のうち、学籍管理、成績処理、グループウェア機能を先行して導入した。

11 学校関係者評価委員会・評議員運営

予算科目(款・項・目) 50・10・05

[決算書341ページ]

予算科目(款・項・目) 50・15・05

[決算書351ページ]

(1) 学校関係者評価委員会

市立小・中学校全28校に評価委員会を置き、学校教育に関する理解及び識見を有する第三

者から、学力向上や健全育成、保護者・地域との連携等に関することについての評価・助言を受け、それらを反映した学校運営を行った。

(2) 学校評議員

市立小・中学校全28校に学校評議員を置き、学校教育に関する理解及び識見を有する第三者へ、教育目標や教育計画、教育活動、学校評価に関することについての意見を求め、それらを反映した学校運営を行った。

12 教職員の定期異動

市立小・中学校における教職員の定期異動に関するもの

(1) 教職員総数

(単位：人)

基準日	小学校	中学校	合計
平成29年5月1日現在	576	249	825
平成30年5月1日現在	589	249	838
令和元年5月1日現在	604	250	854

※ 期限付任用教員・再任用を含む。

(2) 定期異動

ア 令和2年4月1日付け（期限付任用教員を含む。）

(単位：人)

職層	新規採用	市内転任	市外へ転出	市外から転入
校長	0	4	1	2
副校長	0	6	4	4
主幹教諭	0	4	2	1
指導教諭	0	0	0	0
主任教諭	0	16	35	46
教諭	38	3	41	40
事務・栄養職員	0	3	1	2
合計	38	36	84	95

※ 転任・転入は昇任を含む。

イ 令和2年3月31日付け退職

主任教諭12人，主任養護教諭1人，教諭18人，事務1人 計32人

13 教職員の健康診断

予算科目（款・項・目）50・10・15

〔決算書347ページ〕

予算科目（款・項・目）50・15・15

〔決算書355～357ページ〕

市内小・中学校に勤務する教職員の健康診断に関するもの

各検診受診率

種別	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）
結核検診	1,147	878	76.5
循環器検診	1,062	851	80.1
大腸がん検診	890	270	30.3
消化器検診	890	78	8.8
VDT検診	32	19	59.4
ストレスチェック	887	406	45.8

14 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

(1) 市立小・中学校臨時休業措置

内閣総理大臣の休校要請を受け、市立小・中学校について、以下の期間について臨時休業とした。

令和2年3月2日から同月25日まで（3月26日から同年4月5日までは春季休業）

(2) 卒業式・修了式の実施

参加人数の縮減や式典の時間短縮等の感染拡大防止の対策を行い、以下のとおり卒業式及び修了式を実施した。

ア 卒業式 小学校 令和2年3月25日，中学校 令和2年3月19日

イ 修了式 小学校 令和2年3月24日，中学校 令和2年3月25日